



ピティナ愛媛県支部企画講座 ～バロックと古典派の音楽～



～バロックから古典へ～

音楽美学と様式の変化、鍵盤楽器の変遷、それぞれの作曲家の作品と演奏法などについて演奏を交えながらお話しいただきます。

バッハ、スカルラッチェ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンを中心にとりあげる予定です。

ピアニストとして活躍中の久元祐子先生と、バロック、古典派の音楽の世界へ！

【次回のお知らせ】

11月30日(月) 野本由紀夫先生 ～ロマン派の音楽～



講師

久元 祐子 先生

東京藝術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て東京藝術大学大学院修士課程を修了。読売日本交響楽団、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、神奈川フィル、ウィーン サロン オーケストラ、ラトヴィア国立交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。

2012年、2014年には、イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。2011年ウィーンでのリサイタルではピアノ専門誌の表紙を飾り「ペーゼンドルファー・アーティスト」の称号を受ける。

ペーゼンドルファー(1829年製)、ブレイエル(1843年製)、エラル(1868年製)などを所蔵し、歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く出演。それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追求する。2010年、ショパン生誕200年記念年には、全国各地でブレイエルを使つての演奏会に出演。軽井沢・大賀ホールにおいて天皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。また音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは、朝日新聞・天声人語にも紹介される。

これまでにCD10作をリリースし「ハイドンとモーツァルト」は毎日新聞CD選、レコード芸術推薦版に選ばれ、「ベートーヴェン“テレーゼ”ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン演奏」などの評価を得る。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「原典版で弾きたい! モーツァルトのピアノ・ソナタ」(アルテス・パブリッシング)、「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研パブリッシング)など。

国立音楽大学准教授、日本ラトヴィア音楽協会理事

久元祐子ウェブサイト
<http://www.yuko-hisamoto.jp/>

日時: 2015年10月29日(木) 10:00-12:00

会場: アオノホール

受講料: ピティナ愛媛県支部所属会員 2,500円

ピティナ会員 3,000円

一般 3,500円

下記の申込書にご記入のうえ、お電話またはFAXにてお申込みください。

ピティナHPからのお申込みも可能です。

<http://www.piano.or.jp/seminar/list/>



伊予鉄松山市駅より徒歩3分

【主催・お申込み・お問合せ先】

ピティナ 愛媛県支部

TEL: 089-941-1277 FAX: 089-932-1356

〒790-0011 愛媛県松山市千舟町4-3-7 (株)ヤマハミュージックリテイリング松山店内

◆ 2015年10月29日(木)久元祐子先生 講座申込書 ◆

氏名	ふりがな	種別	<input type="checkbox"/> ピティナ愛媛県支部所属会員
住所	〒		<input type="checkbox"/> ピティナ会員
e-mail		TEL	()
		FAX	()
			<input type="checkbox"/> 一般

※お客さまが本書面に記載された個人情報は、法令で定める場合のほか、お客さまの承諾なしに他の目的には使用いたしません。